

【観光遺産産業化ファンド】 伊勢周遊観光街並創造株式会社に対する投資実行について ～伊勢市二見エリアにおける周遊観光による地域経済活性化を目指す～

株式会社地域経済活性化支援機構（以下「機構」という。）は、株式会社観光産業化投資基盤を無限責任組合員とする「観光遺産産業化ファンド（以下「本ファンド」という。）」にて、本日、伊勢周遊観光街並創造株式会社（以下「当社」という。）への投資を実行しましたので、お知らせいたします。なお今回の投資は、機構が2020年11月16日に三重県、株式会社百五銀行、株式会社第三銀行（※締結当時。現三十三銀行）、桑名三重信用金庫と締結した「三重県における観光による地域活性化」に関する連携協定の活動の一環として行われるもので、本ファンドの第13号案件となります。

伊勢市二見エリアは、古くからお伊勢参りの起点となる観光地として賑わっていました。しかし国内の多くのエリアの観光地がそうであるように、観光事業者の事業継承問題や経営の効率化などの課題が顕著になってきています。

当社は、この二見エリアがかつての輝きを取り戻し、持続可能な繁栄を続けていくために二見エリアの周遊観光活性化を推進する会社として設立されました。地域が一体となって、イノベーティブな手法で観光地づくりに取り組み、地域の将来を担う人材を育て上げ、基幹産業としての観光が地域を盛り上げていくというサイクルを作り上げることによって、地域経済の活性化と社会生活の向上を実現してまいります。

まず第一弾として、通過型の観光地となってしまう伊勢市二見エリアの複数の旅館・民宿と協働し、セントラルダイニングを今秋に設立。運営効率の改善や人手不足の解消、将来的な事業継承問題の解決を目指します。また、これまで機構が観光活性化を担うファンドの運営を通じて培ってきた観光まちづくり事業体の経営ノウハウ移転についても地域金融機関を通じて取り組んでまいります。



夫婦岩の朝日【夏至の頃】 ©伊勢志摩観光コンベンション機構

本ファンドは、今後も地域活性化モデルを各地に展開するために、地域金融機関等に対して本ファンドで得た知見やノウハウの移転を図るとともに、あわせて観光関連産業の活性化においても機構の専門人材を活用したノウハウ移転を通じた支援を行ってまいります。

投資先の概要は以下のとおりです。

| | |
|------|--|
| 会社名 | 伊勢周遊観光街並創造株式会社 |
| 所在地 | 三重県伊勢市 |
| 代表者 | 代表取締役 出口 康司 |
| 事業内容 | ・地域の複数の老舗旅館、民宿と協働したセントラルダイニングの設立、運営 ・伊勢市二見町の観光振興に関連する企画・運営事業 など |

【観光遺産産業化ファンドの概要】

<http://www.revic.co.jp/business/fund/36.html>

以上

<お問い合わせ先・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構 <http://www.revic.co.jp/>

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表: TEL 03-6266-0310

地域活性化支援本部: TEL 03-6266-0590